

住まい・学校・職場の 地震に対する安全性を考えるシンポジウム

日時：2016年11月12日(土)

会場：東京工業大学田町キャンパス イノベーションセンター

共催

東京工業大学科学技術創成研究院

一般社団法人国立大学協会

東京工業大学未来産業技術研究所

東京工業大学フロンティア材料研究所



「住まい・学校・職場の地震に対する安全性を考えるシンポジウム」 開催に際して

2016年4月に発生した熊本地震では、木造家屋や鉄筋コンクリート造マンションなどの住まい、学校や市庁舎などの公共建物、職場である事務所ビルなど多くの建物が被災し、地域住民の暮らしに大きな影響を与えました。これらの建物が地震後も機能を維持し、早期復旧の社会基盤となることが大変重要であることは、熊本地震からもよく分かります。

そこで、建物の耐震安全性や都市防災について研究を進めている東京工業大学では、建物の安全性について、一般市民へ向けて広く発信するシンポジウムを開催し、熊本地震の教訓、強靱な建物や都市を作るための取り組みについてご紹介します。

2016年11月12日 東京工業大学

会 場

東京工業大学 田町キャンパス イノベーションセンター 1階 国際会議室
(東京都港区芝浦3丁目3番地6号)

プログラム

14:00	開会		
14:00--14:05	趣旨説明	笠井 和彦 (東京工業大学教授)	
14:05--14:40	招待講演	「熊本地震の教訓」	高山 峯夫 (福岡大学教授)
14:40--15:10	講演1	「木造住宅の安全性」	坂田 弘安 (東京工業大学教授)
15:10--15:20	休憩		
15:20--15:50	講演2	「学校校舎・マンションの安全性」	河野 進 (東京工業大学教授)
15:50--16:20	講演3	「学校体育館の安全性」	山田 哲 (東京工業大学教授)
16:20--16:30	休憩		
16:30--17:00	講演4	「耐震改修とその効果」	竹内 徹 (東京工業大学教授)
17:00--17:30	講演5	「高層ビルの安全性」	笠井 和彦 (東京工業大学教授)
17:30	閉会		

目次

「住まい・学校・職場の地震に対する安全性を考えるシンポジウム」開催に際して	1
プログラム	3
目次	5
平成 28 年度防災・日本再生シンポジウム開催のご挨拶 里見 進（一社 国立大学協会会長）	7
「熊本地震の教訓」 高山 峯夫（福岡大学教授）	9
「木造住宅の安全性」 坂田 弘安（東京工業大学教授）	15
「学校校舎・マンションの安全性」 河野 進（東京工業大学教授）	21
「学校体育館の安全性」 山田 哲（東京工業大学教授）	31
「耐震改修とその効果」 竹内 徹（東京工業大学教授）	39
「高層ビルの安全性」 笠井 和彦（東京工業大学教授）	49



平成 28 年 7 月 21 日

平成 28 年度防災・日本再生シンポジウム開催のご挨拶

「地域と国の発展を支え、世界をリードする国立大学！！」



一般社団法人 国立大学協会
会長 里見 進（東北大学長）

平成 28 年度防災・日本再生シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本の国立大学は、平成 16 年度の法人化以来、優れた教育や特色ある研究を行うなど個性豊かで魅力ある大学になるよう各大学が工夫を凝らし、成果を上げてまいりました。

国立大学協会では、このような国立大学が果たす役割や存在意義の重要性について広く社会の理解を得るため、平成 20 年度から、優れた内容のシンポジウムを当協会の共催とし、経費や広報の一部を支援しております。また、国立大学や大学共同利用機関が実施する教育、研究、地域貢献などの各種活動を社会の皆様にご理解いただくため、平成 22 年度から、10 月及び 11 月の 2 か月間を「国立大学フェスタ」と銘打ち、この期間に各国立大学等が地域と連携しながら実施する、シンポジウムやオープンキャンパス、公開講座、市民講座などの様々な活動を集中的に皆様方に紹介しております。こうした活動を展開することによって、真に実効性のある国立大学の改革や存在意義等について引き続き、地域、社会、産業界等、広く国民の皆様のご理解をいただくよう努力してまいります。また、国立大学自身も、皆様方のご期待に応え、高い付加価値を生み出す大学を目指して一層努力いたしますので、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

本日開催される防災・日本再生シンポジウムは、関係大学のご尽力により魅力ある内容となりました。地元の自治体、政財界、地域の皆様にご理解いただくとともに、意見交換の場とも位置づけておりますので、貴重な情報や人脈を得る機会として活用いただけることを期待しております。

最後に、本シンポジウムが参加された皆様にとって意義あるものとなりますことを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

